

# 鳥取県中学校体育連盟主催大会の実施及び参加におけるガイドライン

(令和2年9月23日版)

## 大会運営について

- 各専門部は、感染症予防対策責任者を置き、その者の指揮命令の下、観客への対応も含め、大会における感染症予防対策を実施するとともに、事前に周知徹底する。
- 各専門部は、中央競技団体、県競技団体からの活動方針やガイドラインに則って運営を行う。
- 各専門部は、本ガイドラインを基に具体的な感染症予防対策を保護者へ提示し、生徒の参加について同意書の提出を求める。
- 監督・コーチ・選手・運営スタッフ全てを含め、屋内・屋外とも5,000名以下又は施設の収容定員の50%以下(いずれか少ない方)となるよう人数をコントロールする。
- 協会・連盟等の役員を依頼する場合は、大会の2週間前からの検温結果及び体調について「体調管理表」(様式3)に記録し、大会当日の提出と体調管理に努めるよう依頼する。また、役員服・役員証等を着用するよう依頼をする。
- 会場出入り口、試合場(コート)等にそれぞれ手指消毒剤を設置する。
- 受付等において、参加者等が距離をおいて並べるよう目印を設置する。
- 監督、コーチ、選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。ただし、選手は原則として、ウォーミングアップ・ダウン及び、試合中のみマスクを外すことができる。なお、熱中症が起きる可能性が大きい場合は、マスクの着用を控えるなどの熱中症対策を優先させる。
- 試合の前後は必ず消毒を行い、できれば試合中にもこまめに行う。
- 試合中のベンチでは間隔を空けて座る。
- 閉開会式を実施する場合はできるだけ簡素化し、密集・密接とならないよう、参加人数を制限したり、周囲との間隔(できるだけ2m)を広くしたりするなどして実施する。
- 屋内競技は大会主催者主導で定期的(1時間ごとに5~10分程度)に一斉換気を行う。会場の状況によっては、送風機などで会場の空気を動かし、密閉空間とならないよう対応に努める。
- 選手が触れるボールや器械器具は可能であれば定期的に消毒をする。
- 手洗い場には、必要に応じてペーパータオル(使い捨て)を準備する。
- 更衣室の使用人数を制限し、換気に努める。
- 選手の待機場所については、大会責任者が場所を指定し、密にならないようにする。
- 昼食等を大会主催者で準備する場合は、配布する役割を決めて個人に配布し、他人の分をまとめて受け取ることはしない。
- 試合会場で手を触れる場所は定期的にアルコール等で消毒を行う。
- 報道関係者が取材で来場した場合は、名刺等で本人確認を行い、検温及び体調について確認の上、来場を許可し許可証を発行する。
- 報道機関による選手・監督、大会関係者への取材については、マスクの着用と密の回避を依頼する。

## 大会参加について

- 各校で参加についての大会参加同意書(様式1)を配布し、提出のあった生徒のみ参加を認める。
- 学校の生徒や教職員等の中から新型コロナウイルス感染症の患者が発生したときは、その学校が臨時休校となることから、その間は生徒及び教職員は大会に参加することはできない。ただし、保健所が実施する疫学調査を踏まえ、専門家と協議した結果、参加できる場合もある。
- 大会に参加する選手、監督、コーチ、運営スタッフ等は、大会の2週間前からの検温結果及び体調につ

いて「体調管理表」(様式2)に記録し、体調管理に努める。当日、検温を行い、発熱や体調不良等風邪の症状がある場合は参加できない。主力選手であってもこのことを徹底する。

#### 移動について

- 借り上げバスや公共交通機関を利用して移動する際は、乗車時に可能な限り相互の間隔を空けることとし、必ずマスクの着用と大きな声で話さないことを徹底する。併せて、可能な限り換気に努める。
- 学校長が承認した場合に限り、保護者による送迎を認める。

#### 宿泊について

- 大会が連日の開催となる場合も、宿泊は原則行わない。

#### 観客について

- 無観客での開催とする。

#### 選手・監督の遵守事項について

- 生徒の検温を含めた健康観察の実施を徹底する。
- 大会期間中に体調が悪くなった場合は、保護者が必ず迎えにくることを事前に伝えておき、引率教員が保護者へ連絡をする。
- 試合中選手、監督、コーチは大きな声での指示、応援は控える。
- 入退場時、休憩時間や待ち合わせ場所等を含め「三つの密(密閉、密集、密接)」の環境を避ける他、ハイタッチなど身体接触等を極力控える。
- 水分補給は個人で容器を準備し、まわし飲みはしない。
- タオルは個人で準備し、共有しない。
- 昼食は個人で準備し、他人への供与はしない。
- マスク、制汗シート等は個人でビニール袋を持参し持って帰る。会場のゴミ箱等には捨てない。
- ミーティング等においては、密閉空間での長時間滞在や密集での開催を避ける。
- 更衣室は大会主催者の使用人数の制限に従い使用する。
- 各校で消毒液を準備し、待機場所でもこまめな消毒に努める。

#### 大会中感染が疑われる場合の対応について

- 参加者等に発熱、咳、味覚異常等の感染が疑われる症状がある場合は、該当校の引率教員又は保護者が該当地区の発熱・帰国者・接触者相談センターに連絡をし、その指示に従う。また、医療機関を受診する場合は、事前に連絡を行い、発熱・帰国者・接触者相談センターに相談したことを伝え受診する。

#### 感染者が発生した場合の対応について

- 参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認が取れる体制を確保する。また、保健所が実施する疫学調査等に協力する。

#### 大会開催の可否について

- 県内の学校において、感染者が確認された場合の大会開催の可否については、大会主催者で協議の上決定する。
- 十分な感染防止対策を取ることができない場合は、開催を中止する。